

尾張JPスポーツ若葉教育リーグ 要項 Ver1.3

- 主催** 特定非営利活動法人 尾張JPスポーツ
- 後援** ナガセケンコー株式会社、中日新聞社 順不同
- 協賛** スポーツデポ 小牧店、株式会社マルエ、バッティングセンターららら 順不同
1. 主旨 本大会は、ティーボールから軟式ボールへ移行する大切な時期にある選手たちが、実戦を通して野球の楽しさと難しさを学び、次のステップへ自信をもって進むことを目的としています。勝敗だけでなく、ルール理解、仲間との協力、フェアプレイの大切さを経験する場とします。地域の子どもたちに野球の楽しさと挑戦の機会を広げるために、4年生以下の児童を対象に、試合経験を積む機会として実施される。
2. 参加資格 **小学4年生以下の男子、小学5年生以下の女子とする。**
合同チームでの出場も可とする。
※スポーツ傷害保険に加入していること。
3. 監督者会議 (総会) 令和8年4月25日(土) 開会/午後3時30分～ 受付/午後3時15分～
いちい信金スポーツセンター(一宮総合運動場) 会議室
住所:愛知県一宮市千秋町佐野字向農756 Tel:0586-77-0500
4. 開会式 開会式は行いません。
5. 会期 令和8年5月2日(土)から令和8年11月29日(日)まで
対戦チーム同士が日程調整を行いながら進行する自主方式を採用し、無理なく参加できる柔軟なスケジュールにする。
6. 参加費 年会費/9,000円 ※途中加入の場合は月/1,500円
※トーナメント大会は別途徴収です。 **監督者会議時に徴収します**
7. 実施方法 総当たりのリーグ戦を実施する。
※チーム数の都合上、同一対戦も可能とする。
8. ルール ①試合は5イニングまたは70分を過ぎたら新しいイニングに入らない。(引分あり)
②コールドゲームは適用しない。
③ **1イニングの攻撃において、5点目の得点が入ったプレイをもって攻撃終了とし、そのプレイ中に記録された得点はすべて有効とする。**
④ **ポークは注意(指導のみ)のみとする。**
⑤ **投球間は14mとし、塁間は21m、本塁・二塁間は29.7mとする。**
⑥ 投手の1日あたりの最大投球数を60球とする。(全学年)
趣旨を理解して頂き、チームスコアラー(記録員)を活用するなど、チームの自主管理をお願い致します。
⑦ 選手登録は当日のメンバー表を有効とする。
⑧ 試合途中の降雨、日没等で続行不可となった場合は、**3回表裏をもって試合成立とする。**
⑨ 上記以外及びグラウンドルール以外は、公認野球規則及び競技者必携を適用とする。
⑩ **指名打者制(DH制)を採用することができる。(※別紙参照2)**
(競技者必携 P50 及び公認野球規則 5.11 参照)ただし二刀流は採用しない。
⑪ **投手の12秒及び20秒ルールは適用しない。**
⑫ **バッターボックスルールは適用する。(※別紙参照1)**
⑬ **守備、攻撃タイムの回数制限は、2回までとする。(※別紙参照3)**
⑭ 頭部にヒット・バイ・ピッチを受けたとき、その程度を問わず、球審は臨時代走者の処置を行わなければならない。
⑮ 試合前のシートノックは大会運営上行わない場合もある。
⑯ シートノック時の補助員のヘルメットを着用すること。
⑰ ファウルボール拾いは攻撃側チームが回収し、球審に手渡す。

9. 審判
- ①各チームから2名ずつ出して、4人制とする。尚、3人制でも可。
 - ②主審はグラウンド提供チームとする。
 - ③**審判員の服装はふさわしい服装**（ジャージ等可）をお願い致します。
 - ④球審は、1回表及び1回裏開始前、投手へ新しいボール(未使用球)を手渡すこと。
 - ⑤**審判員は、選手への指示行為やヤジ、暴言は禁止とする。**
10. 表彰
- ①勝ち点の一番多いチーム(リーグ優勝)のみ表彰とする。
表彰式 12月26日(土) 一宮総合運動場野球場A面
 - ②勝点は、**勝ち…2点、引分け…1点、1試合につき1点**
 - 1)勝ち点と同じ場合は、試合数の多いチームを上位とする。
 - 2)それでも決まらない場合は、総失点の少ないチーム、総得点の多いチームとする。**☆リーグ優勝チーム…優勝トロフィー(持ち回り)、賞状**
- 11.特別表彰
- 本大会では、**若葉教育リーグの理念に沿った取り組みが見られたチームを対象に**、特別表彰を行います。
- なお、選考の参考資料として、大会期間中に実施する『**審判チェック簡易フォーム**』等を活用し、リーグ戦およびトーナメント大会の全日程終了後、大会本部にて協議のうえ決定します。
- 表彰対象チームには後日大会本部より連絡のうえ、別日に大会役員が出向き表彰を行います。全て賞状とさせていただきます。
- チャレンジ賞**
失敗を恐れず、積極的に挑戦する姿勢が見られたチーム
- フェアプレイ賞**
ルールや相手、審判を尊重し、フェアプレイの精神に基づいた模範的な行動が見られたチーム
- 若葉賞(教育賞)**
大会を通じて、選手全員の出場機会の確保や安全への配慮、挑戦を後押しする指導姿勢など、教育的観点から特に優れた取り組みが見られたチーム
- ※本表彰は順位・勝敗とは関係ありません。**
12. 確認事項
- ①試合開始時間の30分前に試合のできる状態で集合すること。
 - ②試合球は、**ナガセケンコーボールJ号**を試合前に2個提出する。
 - ③グラウンドルールに関しては会場提供チームの指示に従うこととする。
 - ④監督、コーチ(20歳以上でなければならぬ)、選手は、ユニフォーム着用すること。
但し、新入部員は協議の上、参加できることとする。
※合同チームの場合はユニフォーム統一規定を除外する。
 - ⑤投球練習時のキャッチャーはコーチが務めてかまわない。
 - ⑥捕手は、マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット、ファウルカップを着用すること。
 - ⑦打者、走者、コーチャーは、両耳ヘルメットを着用すること。(統一規制はしないとする)
 - ⑧使用バットについては、2029年より、学童部においては小学生軟式用も使用禁止とし、少年部においても外表面にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。
なお、上記以外のバット(木製・金属製・カーボン製・複合(金属/カーボン))については、使用制限を行わない。
※⑥⑦⑧については『J・S・B・Bのマーク』又は『SGマーク』の付いているものとする。
 - ⑨スパイクの色は自由とするが、金属スパイクは禁止とする。
 - ⑩ベンチ入りは、代表、監督(30)、コーチ(28, 29)、スコアラー等、計5名以内とする。
 - 1)選手の背番号は0番から99番までとする。
 - 2)ベンチ入りの人数については制限しない。

- ⑪守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、審判の判断で給水タイムを設けることができる。(試合時間に入れない)。
- ⑫グラウンド整備を含む試合会場の後片付けは、両チーム協力のもと行うこと。
- ⑬プレイを利用して相手選手を欺く行為(アンフェアプレイ)を禁止とする。
- ⑭マナーを守った節度ある応援をしてもらうように取り組む
- ⑮試合中ベンチ内での携帯電話、タバコは一切禁止とする
- ⑯選手の競技中の事故やケガについては、各チームの責任において応急処置を行うこと。
※主催者側での責任は一切負いませんので、ご了承下さい。
- ⑰各試合会場での、大会役員の立ち会いは原則行わないとする。
- ⑱試合結果報告は、勝利チームが大会本部に結果報告を報告して下さい。
※最終結果報告は12月5日(土)までとする。
- ⑲試合結果は、随時ホームページで更新しますが、都合上により遅れることがあります。
- ⑳同一試合での投手と捕手の兼任禁止について
2027年(令和9年度)から導入となりますが、監督者会議に議論とする。